

会議記録

- 会議名 丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会
第20回 吉見・鴨庄・三輪地域部会
- 日時 令和6年12月9日（月）19:30～20:30
- 場所 吉見小学校 体育館
- 出席者 委員：坂谷 高義、木寺 章、伏田 尚徳、由良 英樹、高見 忠寿、
吉井 友章、今上 康代、高橋 麻美、岸本 菜実、内田 順子、
芦田 繁昭、田野 悟
有識者：赤尾 実紗、村岡 昌幸
欠席委員：足立 幸司
教育総務課：足立課長、足立副課長兼係長、荻野係長、大垣主幹、河南
学校教育課：小森参事

1 報告・協議事項

（１）校歌楽曲（案）の選考

足立知謙氏に作曲いただいた校歌楽曲（案）2曲について、会場（会議室、体育館）で試聴し、委員により意見交換された。

【委員の意見交換】

～会議室で試聴～

有識者：どちらの楽曲も素敵なメロディーだと思い聴かせてもらった。小学生が歌うという点では、どちらの楽曲も低すぎず出しやすい音域だと感じた。1年生から6年生までが歌うということを考えると、B案はおしゃれで素敵であるが、少しリズムが複雑な箇所があり、音がとりにくい箇所もあるのかなと感じた。A案の方が歌いやすい曲という印象を受けた。

有識者：B案はフレーズの切れ目が変わり、低学年は少し歌いにくいところがあるのかなという印象を持った。歌詞の最後の「市島小学校」という音程もA案の方が通常の発音に似てて、こどもは歌いやすいのかなと思う。

委員：作曲にあたって、作曲家の足立知謙さんが学校に来られて校内を見られた。校舎の高い所から周りの景色を見られて、学校から見える風景をイメージして楽曲を作ってくださったと思う。2曲はそれぞれ違ったイメージをわざと用意してくださったと思う。どちらも素晴らしい曲で大変悩ましいが、1年生が入ってすぐに歌うということなども考えると、A案かなと思う。

～体育館で試聴～

委員：体育館で試聴し、少し離れた所から委員の皆さんが歌っている様子を見てみると、A案はとても歌いやすく、何回か練習したらすぐに歌えるようになると思う。音楽として楽しんでいる様子が見られるのはB案だったと思う。小学校は6年間あるので、1年生から完璧に歌えなくても6年かけて歌に親しんで、校歌を好きになっていけばよいと思う。少しぐらい難しい方が面白みもあると思う。

委員：足立知謙先生の楽曲解説コメントを読むと、A案の方が市島小学校をイメージされた楽曲になっている印象がある。A案の方がいいなと思う。

委員：どちらの曲も「市島小学校」という言葉が頭に残る。家で聴いたときはB案が良いなという感想を持ったが、皆さんの意見を聞くとA案が良いなと思う。

委員：私も皆さんと同じ意見でA案が良いと思う。

委員：選考方法は特に決まっていないが、挙手ですか、投票とするか。

→委員：投票がよいと思う。

（２）校歌楽曲の決定

校歌楽曲について投票の結果、市島小学校の校歌はA案の楽曲に決定された。（投票に有識者の参加なし）

（３）統合小学校校舎増築及び改修工事について

増築及び改修工事の概要について事務局より説明した。

【委員の意見交換】

委員：増築等工事について２点聞きたい。増築棟の運動場側にはボールが当たらないように柵の設置があるのかどうか。駐車場のスペース確保についてはどう考えているか。

→事務局：増築棟の運動場側には、防球ネットを設置する予定である。駐車場については、プール横の平地をアスファルト舗装する予定である。状況によっては、旧市島支所の駐車場を借りるなどの対応が出てくることがあると考える。

委員：市内のどの小学校を見ても全ての車が駐車できるような学校はあまりない。状況により、吉見地区自治振興会の友愛センターや旧市島支所の駐車場を借りて対応ということになると思う。

委員：普通教室の増築棟は本設か仮設（プレハブ）か。

→事務局：プレハブではなく、エアコンの空調設備など、こどもの人数に対応するための普通教室棟の増築である。

委員：校舎の改修について、コンピューター室と図書室は普通教室に改修されることになるが、それらは学校からなくなるのか、縮小されるのか。

→事務局：こどもの人数が減ってきたらコンピューター室に戻すということも一つの案だと思う。図書は、体育館の会議室に移すことを予定している。

以前コンピューター室は各学校にあったが、現在は一人一台タブレット端末が整備されており、小学校の建築において必ずしも設置しなければならないものではない。吉見小学校含めてこどもたちのタブレット端末の耐用年数も近いので、国の補助金を活用しながら更新を予定している。

委員：バックネットは撤去か。

→事務局：撤去する。

（４）美和地区児童の通学支援、通学路の安全対策の状況について

事務局より美和地区児童の通学支援、通学路の安全対策の状況について説明した。

９月初めに三輪小学校と三輪小学校PTAの方から、通学路に関する要望書が出され、９月下旬に通学路安全対策連絡協議会（警察・兵庫県・丹波市関係部署）にて要望内容を協議した。その結果を１１月２５日に三輪小学校、三輪小学校PTA役員、美和地区自治振興会役員に説明したところである。

バスルート、バス停については、美和地区自治振興会とふるさと定住促進課で調整して

いる。

(5) その他

事務局より3点事務連絡した。

- ①現在、協議事項はないので、次回開催予定は未定である。
- ②来年度は、美和地区児童の通学支援の調整や通学路の安全対策の実施、小学校の増築等工事、市島小学校の校旗の作成、閉校記念式典の開催等を見込んでいる。
閉校記念イベントについては、開催費用や記念誌等の作成に係る費用の補助制度があり、11月に吉見地区自治振興会、美和地区自治振興会に個別に説明している。
- ③来年度の統合準備委員会委員の選出について、来年の3月頃に依頼させていただくことを予定している。

委員：統合について学校の準備状況を報告する。総合的な学習の時間に地域の学習があり、来年度のカリキュラムを作成した。3年生、4年生のプログラムに美和の里山を大切にする取組や米作りを取り入れて、3地区（吉見・鴨庄・美和）のふるさと学習をそのまま残すプログラムを作った。

来年度の日程については、4月に全校生による交流の場、1学期に2時間合同授業（2学年ずつ）、2学期に同じ授業を参観の形で実施、3学期に3日間プレ登校を実施し、路線バスに見立てたバスで、登校から下校まで行う予定である。また、社会見学や授業で交流できる場所は随時行っていきたい。先日、三輪小4年生のこどもが金管を体験した。3学期には自分の楽器が決まって、1年間三輪小学校に楽器を貸し出す予定である。

こども園のときは、同じ部屋で生活していたのですぐ慣れると思うが、地域や保護者の皆様がどのように動いてくださるかで、学校の心強さも変わってくると思うので今後の1年間お願いしたい。新6年生になる子は、1年かけて閉校に向けて大役がある。地域の方も6年生のモチベーションを気にかけてほしい。教職員の多くは昨年の統合を経験しているので安心してもらったら良いが、気をつかっているところもあるので労務をねぎらってもらったらと思う。

2 次回日程

未定